

<第4146回>

目的地：金剛山南尾根（金剛山）

担当者：時本長裕

実施日：2021年6月26日（土）

形式：ポッカ訓練パートI

費用：¥1,700.（難波発着・交通費（往570(南海電鉄) + 往480(南海バス) + 復650(南海電鉄)）

参加者：13名

赤松朋子・岩谷多恵子・江口晶子・川口貴史・柴崎美登里・西山由加里・中村博一・松岡康文・
松島恭治・山内一史・山本勉・脇門律子・時本長裕

天気：曇り

行程：

難波駅(7:35) = (南海電鉄) ⇒ (8:04) 河内長野駅 [集合場所] (8:15) = (南海バス) ⇒ (8:41) 金剛登
山口 [510m] (8:54) - [タカハタ道] ⇒ (10:41) 金剛山（社務所前手前） [約 1,080m] (10:57) ⇒ (11:35)
ちはや園地 [約1,020m・昼食] (12:10) ⇒ (12:50) 中葛城山 (13:02) ⇒ (13:46) 千早峠 [784m] (13:55) ⇒
(14:30) 行者杉 (14:41) ⇒ (15:33) 西ノ行者 [733m] (15:41) ⇒ (16:42) 紀見峠 [300m] ⇒ (17:15) 紀見峠駅
[約220m・解散] = (南海電鉄) ⇒ 難波駅

感想：

金剛山南尾根ポッカ訓練は昨年に引き続き例会再開2回目の例会として実施することができました。昨年は県外等への移動の自粛要請が解除された直後、今年は大阪府の緊急事態宣言が6月21日に解除された直後ということで、2年連続できわどいタイミングでした。もっとも今年は元々6月20日に実施予定でしたが、緊急事態宣言が6月21日に解除されることが見込まれたため例会案内を再提出し、日程を変更しての実施でした。

例会当日、最初からとんでもないハプニングです。集合時刻になっているのに集合場所に担当者（時本）が現れない。私（時本）は前日に大阪青雲会のホームページの掲示板に、分散乗車のため（本来の集合場所である河内長野駅前バス停に行かず）金剛自動車に乗車していただいて金剛山登山口の少し上で待っていただいても構いませんと掲示したことに気をとられ、自分も集合場所に行かなくても良いと錯覚し、富田林駅から金剛自動車に乗車しました。そこで出会った松島さんに「時本さん、ここにいてもいいの？」と聞かれてもまだ不都合さに気付かず、金剛山登山口付近の駐車場で山本さんから「担当者が集合場所に来ないなんて前代未聞」と言われ、初めて失敗に気が付いた始末でした。でも集合場所での状況を聞くと担当者が現れなくてもあまり話題にならなかったそうで、影の薄い担当者と思い知らされました。

金剛山登山口付近の駐車場で参加された方全員が集合し、コースについて簡単な紹介をした後登山開始です。金剛山南尾根ポッカ訓練の金剛山への登りは、近年はタカハタ道を経由するように計画していますが、ここ2年間は「今にも雨が降りそう」とか、コロナ禍の影響を受けた例会再開直後で運動不足な人が多いと予想されるといった理由で、千早本道経由に切り替えて登っていました。今年も例会再開直後には変わりはありませんでしたが、私自身は3年連続でタカハタ道を通っていなかったということもあり、久しぶりにタカハタ道を経由してみることにしました。

タカハタ道経由で行くと千早本道経由に比べて時間がかかり、足場の少し悪いところはありますが、標高の低い部分で水辺を通りますので涼しく、参加された何人かの人に感想をお聞きしたところ、涼しさを評価され、タカハタ道経由の方が良いということでした。（別の人からは異論が出る可能性があります。）当日は曇りで暑さも極端ではなかったのですが、それでも水辺の涼しさが心地よいという評価が高かったことがわかりました。重い荷物を背負って足場の悪いところを通過することも、実際の縦走ではあり得ることですのでトレーニング（訓練）としては良いと考えられるのかな

と思います。

やがて標高1,000mを越え、空気が少しひんやりしていると感じ始めると間もなく社務所前に到着しました。社務所前で暫くの休憩後、日帰り60山のポイントゲットの証拠を示すべく、金剛山・葛城神社で集合写真を撮影しました。ここでは、本日のまとまった登りは終了したということで、皆さん、ホッとした表情を浮かべられていました。集合写真は後で見ると正常に写っていて、結果は良かったのですが、実は現地ではチョットしたアクシデントがありました。私のカメラのスイッチのほとんどが作動せず、セルフタイマー機能が使えない。少しもたもたしていると、すかさず皆さんから「ちゃんと（セルフタイマーの）予習をしてこなければダメじゃない。」といったツッコミが入りました。厳しいですねえ～。予習をしてきても動かないんですけど。幸いシャッターボタンは動きましたので、三脚を構えたままで近くの人に依頼してシャッターボタンを押してもらいました。

金剛山・葛城神社から下り勾配を歩くこと約25分で、ちはや園地（大屋根の休憩所）に到着しました。昼食場所は大屋根の休憩所にするか、隣接する金剛山キャンプ場にするか一瞬だけ迷ったのですが、空いていそうなので大屋根の休憩所に決めました。着いてみると大きな屋根の下のテーブルやベンチがある休憩所は、少し後で2人組の人は来ましたが、到着直後は誰もおらず貸し切りでした。事後のことですが、金剛山キャンプ場は入り口にチェーンがしてあり、入ってはいけない状態でしたので、ちはや園地を選択して良かったと思います。

ちはや園地を出発後、お地蔵さんの前で合掌し、久留野峠からの急な階段を登りきったところにある中葛城山に到着しました。ここで、休憩を兼ねて昨年につき集合写真を撮影しました。私のカメラは相変わらずほとんどのスイッチが機能せず、シャッターもおりているように見えていますが仮に有効でなかったとしたら集合写真を含めて当例会で1枚も写真がないことになり、さすがに良くないと思ったので、カメラを持ってきておられた山内さんをお願いして中葛城山での集合写真を撮影していただきました。持ってきておられたのが大型の一眼レフカメラだけあって、拡大しても鮮明に明るく写っていました。山内さん、ありがとうございました。

中葛城山を出発してしばらく歩くとササユリが咲いている場所が点在して現われます。今年もしんどい金剛山南尾根ポッカ訓練に安らぎを与えてくれるように、10カ所以上にわたって咲いていました。

更に進み、千早峠を越え、行者峠にやってきました。ここはコロナ禍前まではティータイムを実施していた場所で、最も華やかな頃はメロンやスイカを始めとするデザート類が所狭しと提供されたものでした。現状では、「今は昔・・・」というべきか、夏草が茂っていることから連想して「デザート類の（兵どもの）夢のあと」というべきか。いずれにしても一抹の寂しさを感じます。「過ぎたるは猶及ばざるが如し」とは思いますが、ささやかなティータイムは会員のコミュニケーションの糧として優れていたと思います。コロナ禍が消え去り、アットホームな雰囲気を出せる日がまた来ることを期待します。

行者杉まで来るとほぼ金剛山南尾根ポッカ訓練は終盤にさしかかりますが、ここから先も意外と長いです。当日は12:00～18:00の降水確率が60%で、いつ降ってもおかしくない状態でしたが、

13:00となった中葛城山付近を過ぎても降らず、その頃からこのまま降らないのではないかと期待を持ち始めていました。結局最後まで降りそうで降らないお天気で助かりました。一方で、降水確率が高かったお陰でほとんどと言っていいほど人に合わず、待ったり待っていただくことはほぼありませんでした。例会再開直後なのにロングコースのハードな例会に、降水確率が高いにも拘わらず参加していただきましてありがとうございました。ティータイムなしとはいえ、タカハタ道経由で紀見峠着17:15は、それなりの早さだったと思います。参加された皆様が参加される夏山が良い山行となることを祈念いたします。ありがとうございました。